

平成17年11月7日

各位

会社名 沢井製薬株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 澤井 弘行  
 (コード番号 4555 東証第一部)  
 問合せ先 常務取締役管理本部長  
 兼経営効率部長 佐藤 博之  
 (TEL. 06-6928-7071)

### 中間業績予想ならびに通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成17年5月13日の前期決算発表時に公表した平成18年3月期(平成17年4月1日～平成18年3月31日)の中間業績予想ならびに通期業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

#### 記

1. 平成18年3月期中間連結業績予想の修正(平成17年4月1日～平成17年9月30日)  
 (単位: 百万円、%)

|              | 売上高    | 経常利益  | 当期純利益 |
|--------------|--------|-------|-------|
| 前回発表予想 (A)   | 12,580 | 1,370 | 590   |
| 今回修正予想 (B)   | 12,490 | 1,815 | 908   |
| 増減額 (B-A)    | △ 90   | 445   | 318   |
| 増減率          | △ 0.7  | 32.5  | 53.9  |
| (ご参考) 前中間期実績 | 11,192 | 481   | 61    |

2. 平成18年3月期の中間単体業績予想の修正(平成17年4月1日～平成17年9月30日)  
 (単位: 百万円、%)

|              | 売上高    | 経常利益  | 当期純利益 |
|--------------|--------|-------|-------|
| 前回発表予想 (A)   | 12,150 | 1,060 | 300   |
| 今回修正予想 (B)   | 12,362 | 1,484 | 413   |
| 増減額 (B-A)    | 212    | 424   | 113   |
| 増減率          | 1.7    | 40.0  | 37.7  |
| (ご参考) 前中間期実績 | 11,051 | 433   | 47    |

3. 平成18年3月期連結業績予想の修正(平成17年4月1日～平成18年3月31日)  
 (単位: 百万円、%)

|            | 売上高    | 経常利益  | 当期純利益 |
|------------|--------|-------|-------|
| 前回発表予想 (A) | 26,100 | 3,300 | 2,280 |
| 今回修正予想 (B) | 26,000 | 3,300 | 2,340 |
| 増減額 (B-A)  | △ 100  | 0     | 60    |
| 増減率        | △ 0.4  | —     | 2.6   |
| (ご参考) 前期実績 | 23,277 | 1,883 | △ 349 |

4. 平成18年3月期単体業績予想の修正（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

（単位：百万円、％）

|             | 売 上 高  | 経 常 利 益 | 当期純利益 |
|-------------|--------|---------|-------|
| 前回発表予想 (A)  | 25,400 | 2,680   | 1,800 |
| 今回修正予想 (B)  | 25,800 | 2,700   | 1,690 |
| 増 減 額 (B－A) | 400    | 20      | △ 110 |
| 増 減 率       | 1.6    | 0.7     | △ 6.1 |
| （ご参考）前期実績   | 22,927 | 1,818   | △ 311 |

5. 修正の理由

（1）中間期の修正について

本年7月売出しの新製品の売行きは予想対比今一つの現状ながら、ジェネリック医薬品使用促進の流れのなか、市場拡大につれて売上高はほぼ計画どおりに推移、一方、利益面では、工場操業度アップ等による製造原価率の低下に伴い売上総利益率が大幅に改善したうえ、試験研究費を中心に販売費及び一般管理費も予定額を下回り、連結・単体とも当初業績予想対比で増益となる見込みであります。

（2）通期の修正について

当面は売上、利益とも順調な推移を見込んでいますが、①売上面では、来年4月実施予定の医療保険制度改革の成行きや薬価改正前の需要家の買控え予想等の不確定要因も多いこと、②利益面でも、ジェネリック医薬品使用促進を謳う好機として広告宣伝活動を積極的に展開する予定である等経費増が見込まれること、③減損処理に伴う税効果の見直し（単体のみ）等を折り込んだうえ、上記としました。

以 上